

第1014回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成26年12月17日（水）午後3時00分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 吉井委員長 西野委員 清川委員 川畑委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹（学校教育） 松田企画幹（高校改革）
上野企画幹（義務教育） 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
山元生涯学習・文化財課長 北川学校教育政策課参事
工藤生涯学習・文化財課参事 芝田若狭歴史博物館長

4 議 題

日程第1 第40号議案 平成26年度福井県公立小・中学校および県立学校の
校長・教頭任用選考試験の合格者の決定について

日程第2 第41号議案 平成27年度教職員人事異動方針について

日程第3 第42号議案 平成27年度福井県文化財調査員採用選考試験の
採用内定者の決定について

日程第4 第43号議案 福井県立若狭歴史博物館運営協議会委員の任命について

5 審議事項

(1) 開会宣告 午後3時00分

(2) 会議録署名人の指名 清川委員 川畑委員

(3) 議事要録

委員長 本日の日程第1、第40号議案から日程第4、第43号議案については、
人事案件であることから、報告事項の1および2については、事務執行上
公開が適当でないことから、非公開といたしたい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

委員長 日程第1、第40号議案を議題

企画幹（高校改革） 資料に基づき説明

西野委員 すべての教員が、校長や教頭のような指導者を目指すのではなく、教える
ことのエキスパートを目指すという二つの道があってもよいのではないか。

教育長 教員の職階は、校長と教頭以外はフラットであり、行政職と違う。これは、本県だけの状況ではない。また、私学においても教員については同じ状況である。このような中、特に、50歳代の教員のモチベーションをいかに維持するかが重要である。

清川委員 授業名人の先生は、相当な努力していると思う。それに報いることも考えるべきではないかと思う。

委員長 第40号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第2、第41号議案を議題

企画幹（高校改革） 資料に基づき説明

清川委員 「女性管理職の任用を推進する。」とあるが、女性を育てるような取組みを行っているのか。

企画幹 管理職になる前段階として、教務主任などの役を任せる必要があるため、まずは、学校や市町に対してそのような役に女性を抜擢するよう話をしていく。

委員長 30～40歳代の女性教員を育てていく方向でお願いしたい。

委員長 第41号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第3、第42号議案を議題

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

委員長 第42号議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

委員長 日程第4、第43号議案を議題

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

若狭歴史博物館長 若狭歴史博物館開館後の状況について説明

委員長 第43号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

協議事項

(1) 子どもたちのスマートフォン等の使用に関する対策について

清川委員 スマートフォン等の使用時間は、増えているのか。

企画幹（義務教育） 年々、増えている状況である。

川畑委員 スマートフォン等の使用には、よいものもあると思うが、使用時間の中にはすべて入っているのではないか。

高校教育課長 スマートフォン等からは多くの情報が入り、うまく使えば有効なものとなるが、高校生の様子を見ると、ほとんどがLINEやメールなどをしていて、それらにどっぷりと浸かって生活や勉強に影響が出ているような子どもを何とかしたいと考えている。

西野委員 スマートフォン等の正しい使い方の指導は、高校生が中心となるかもしれないが、中学生に対しても指導を行ってほしい。

報告事項

(1) 教育委員会に対する請願について

(2) 福井県指定文化財の指定に係る諮問について

委員長 本日の会議の終了を宣告